

吹田のまちをよくする仕組み

吹田市社会福祉協議会は、地域の暮らしを支える仕組みづくりを行っています。「できるときに、できることを、できるだけ」の気持ちで、あなたも参加してみませんか。☎同協議会(TEL6339・1205 FAX6339・1202)。

地域の福祉を支えます 赤い羽根共同募金

共同募金は、戦後間もない昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動としてスタート。集まった募金は地域福祉活動や福祉施設・団体、ボランティア活動の支援など地域福祉の推進や、最近では、災害支援やコロナ禍での福祉活動の支援などにも活用されています。



赤い羽根に込められた意味

ヨーロッパでは昔、勇気の象徴や善行のシンボルとして赤い羽根が使用されていました。日本では、「助け合い」「思いやり」「しあわせ」を表し、寄付者に対する感謝の印として使用されています。また、社会を明るくする運動のシンボルマークは黄、緑化運動の募金は緑、水難救助は青の羽根を使用。

10月1日(木)から 赤い羽根共同募金運動がスタート

これまで、みなさんからの善意は地区福祉委員会の活動や福祉施設の車両購入などに役立てています。今年度もみなさんの協力をお願いします。

コロナ禍でも地域のつながりを守り続ける 地区福祉委員会

高齢者を対象とした昼食会やサロン、子育て世代を対象にしたサロンなどに取り組んでいます。コロナ禍では、今までのつながりが途切れないよう電話を中心にした見守り・声かけ活動が実施されました。また、大学生の書いた手紙を高齢者に届けるなどの交流を実施する地区もあり、若者の力と温かい思いの込められた活動が広がっています。同協議会では、こうした活動を支援するため、多様な団体同士のつなぎ役として、連絡調整や情報発信を行うなど、地域福祉活動へのコーディネートを続けています。



高齢者に届けられた大学生からの手紙。押し花が添えられています。

悩みや困りごとは気軽に相談を コミュニティソーシャルワーカー(CSW)

同協議会に配置されているCSWは、地域に密着した相談員として活動しています。各種相談に応じるほか、状況に応じて自宅などにも訪問し、各個人に寄り添った対応を行います。

